

駅から訪ねるへいちく
散策ガイド

令和3年9月(第6次改定版)発行



平成ちくほう鉄道・平成筑豊鉄道推進協議会

へいちくネット



路線マップ&目次

- 直方駅～あかぢ駅……………3
- 藤棚駅～赤池駅……………5
- 人見駅～田川市立病院駅……………7
- 豊前大熊駅～糸田駅……………9
- 大藪駅～田川後藤寺駅……………11
- 下伊田駅～田川伊田駅……………13



- 上伊田駅～柿下温泉口駅 ……15
- 内田駅～源じいの森駅 ……17
- 崎山駅～新豊津駅 ……19
- 豊津駅～美夜古泉駅 ……21
- 令和コスタ行橋駅～行橋駅 ……23



平成筑豊鉄道路線の歴史

(伊田は現、田川伊田・後藤寺は現、田川後藤寺)

伊田線 直方～田川伊田間

- 直方～金田(明治26年2月11日開通)
- 金田～伊田(明治32年3月25日開通)

糸田線 金田～田川後藤寺間

- 金田～糸田(宮床)(昭和4年2月1日開通)
- 糸田(宮床)～後藤寺(明治30年10月20日開通)

田川線 行橋～田川伊田間

- 行橋～伊田(明治28年8月15日開通)

JR 九州線

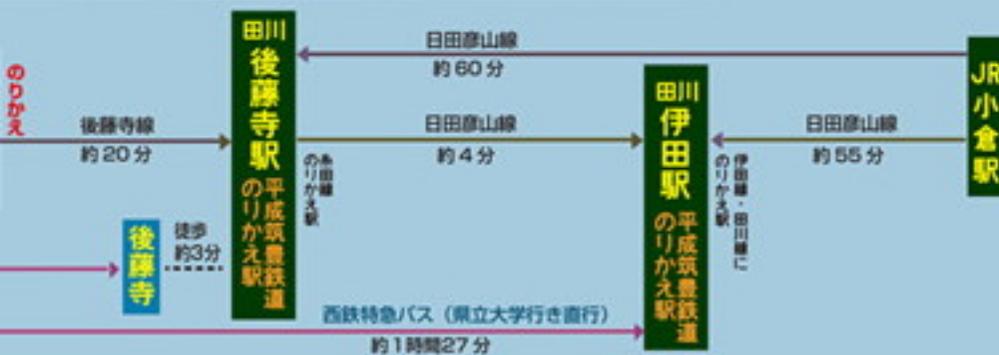
直方駅までのアクセス



行橋駅までのアクセス



田川後藤寺駅・田川伊田駅までのアクセス



※所要時間は目安です。乗り換え・待ち合わせ分は考慮していません。
ダイヤ改正などで時分が変更になる場合があります。
各交通機関でご確認ください。

直方駅～南直方御殿口駅



1 西徳寺

直方駅西口から150m

林芙美子の「文学碑」や山門に直方城の横門、鐘楼は直方藩の時打矢倉、大鐘は福岡藩の時打台の鐘でした。本尊の阿彌陀如来像は聖徳太子御作、一本三体の像と言われています。



坑夫の像は、石炭記念館の門前に設置されています。



2 雲心寺

直方駅西口から300m

直方藩公黒田高政の菩提所であり、博多崇福寺の末寺、直方藩公代々の墓所でもあります。釈迦三尊の像を安置しています。



3 多賀神社

直方駅から600m

林芙美子の「放浪記」に出てくる多賀神社。「日若宮」とも呼ばれ、江戸時代から日若踊りが奉納され、京の葵祭にならった御神幸とともに、県の指定無形民俗文化財に指定されています。



4 直方市石炭記念館

直方駅から5,600m

明治43年に筑豊石炭鉱業組合の直方会議所として建てられその後、直方市石炭記念館として整備され、炭鉱の貴重な資料を多数公開しています。また、コッペルやC11型の蒸気機関車などが屋外に展示されています。



5 直方歳時館

南直方御殿口駅から500m

明治31年に建設された炭鉱王・堀三太郎の旧宅を平成9年から2年をかけて修復し、名称を「直方歳時館」として直方の四季折々を演出する季節の催しが行われています。



6 アートスペース谷尾

直方駅から500m

大正2年頃に十七銀行直方町支店として建てられ、その後福岡銀行直方南支店と改称。個人の美術館を経て、現在は谷尾美術館の別館として公開されています。



7 向野堅三記念館(旧横井病院)

直方駅から650m

大正13年に横井病院として10年の歳月をかけて建てられた洋館。犬養毅首相が訪れた事のある屋敷で、当時の姿を良く留めています。



8 江浦医院

直方駅から5,700m

明治34年に建設された木造洋風建築。現在も開業中です。まだ直方には電灯も無い時代、貝島太助が2年前に日若座を建てて、こけら落としに自宅の自家発電で照明した事は有名です。



9 直方市谷尾美術館

直方駅から8,000m

大正2年に奥野医院として開業され、その後個人所有の谷尾美術館となりました。後に直方市に寄贈され、現在は市立の谷尾美術館として公開され、様々な催しも行われています。



10 石原商店と前田園茶舗

直方駅から7,000m

大正末期から昭和初期のもので、格調高い町屋風の建築です。筋向かいの美術館と共に殿町の繁栄を物語っています。

あかぢ駅



11 嘉麻川橋梁

あかぢ駅から500m

2連のトラス構造をもち、橋脚・橋台はレンガ造という現在では貴重な橋梁。明治26年に下り線が、明治42年に上り線が竣工。その後大正3年に下り側が掛け替えられました、上り線はイギリス製です。



12 地地蔵堂と塙石

あかぢ駅から300m

旧長崎街道で通行を妨げていた巨岩を通りがかりの武士が抱えて地蔵に移し立ち去った。のちにこの武士が塙石衛門とわかり、以後この巨岩を「塙石」と名付け、今日に語り継がれています。



13 奥の院(大祖神社の奥)

あかぢ駅から900m

若見重太郎が「ひひ」を退治した場所に祠が祀られています。



14 大祖神社

あかぢ駅から800m

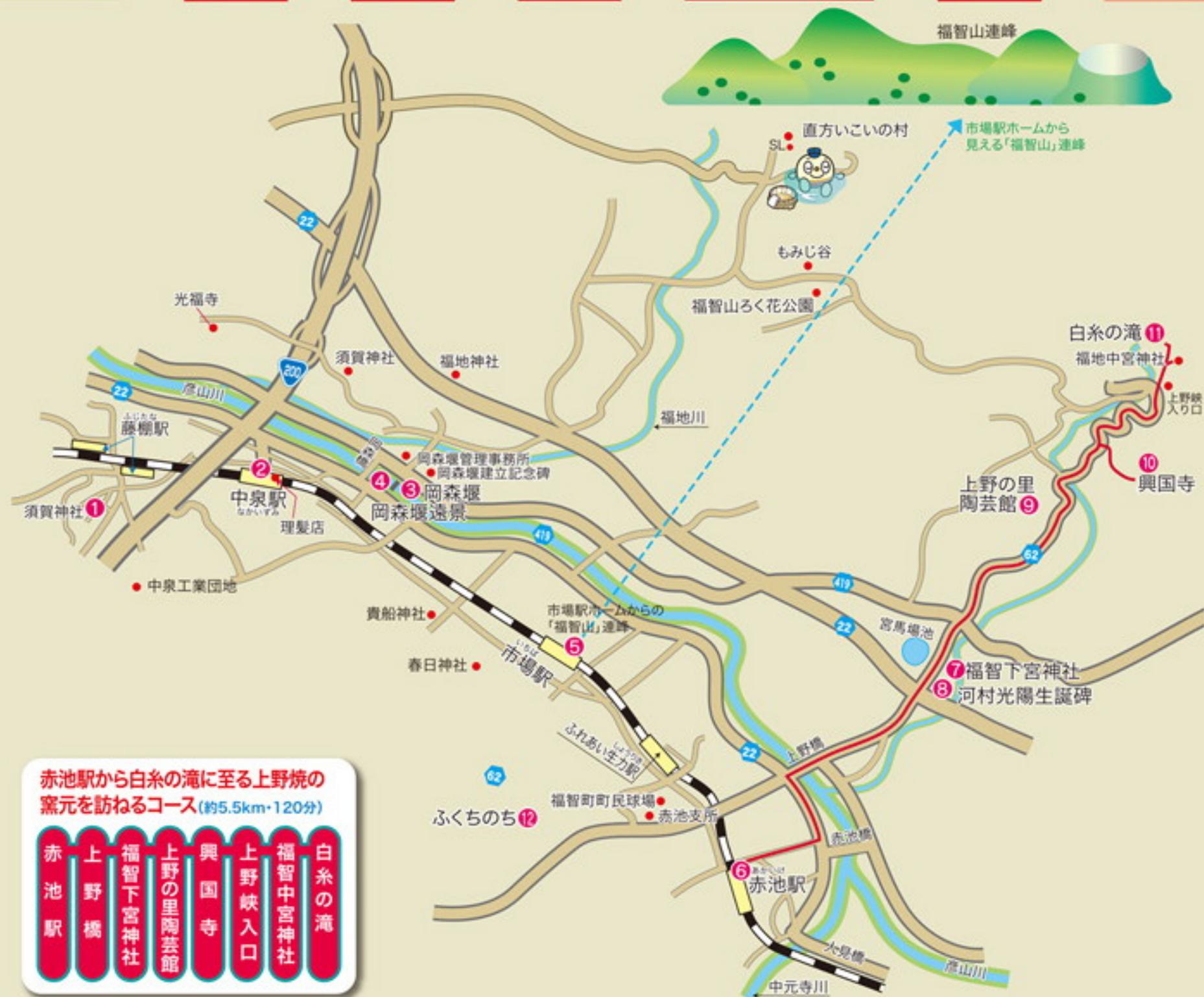
若見重太郎の「ひひ」退治伝説で有名な神社です。重太郎が神社に参拝した折、村人から「大ひひ」に毎年娘を人身御供に差し出すという話を聞き、自ら娘に化けて「大ひひ」を退治し、村人の難儀を救ったという伝説です。



15 赤地天満宮(奥居の奥に祠がある)

あかぢ駅から1,000m

直方藩時代は直方町を通れないからこの先にある遠賀川の渡し船で飯塚宿へ、または長崎から赤地に着き、この天満宮に手を合わせ旅の安全を祈り木屋瀬宿へと旅立っていたのかも知れません。



赤池駅から白糸の滝に至る上野焼の窯元を訪ねるコース(約5.5km・120分)

- | | | | | | | | |
|-----|-----|--------|---------|-----|-------|--------|------|
| 赤池駅 | 上野橋 | 福智下宮神社 | 上野の里陶芸館 | 興国寺 | 上野峡入口 | 福智中宮神社 | 白糸の滝 |
|-----|-----|--------|---------|-----|-------|--------|------|

藤棚駅



1 須賀神社 藤棚駅から588m

静かな高台にあって周りの風景が見渡せます。

中泉駅



2 中泉駅

明治31年(1898)2月9日に開業したレトロな駅舎で、現在は理容店「おしゃれステーションふじた」が駅の中で営業しています。



4 岡森堰遠景

3 岡森堰
中泉駅から850m

岡森堰は明和9年(1772年)に石積みの固定堰として築造され、直方市、北九州市の水田約280ヘクタールを灌漑してきました。その後、昭和58年、固定堰の右側にコンクリート製の可動式ゲートを持つ堰が完成し、現在も広大な水田を潤しています。

市場駅



5 市場駅辺りの風景(福智山連峰) 市場駅前の様子

標高910mの福智山中心に山並みが美しく、登山口周辺には上野峠、永満寺、内ヶ嶽などがあり、その近くには上野焼や高取焼の窯元も点在します。直方駅から橋駅の辺りまで、彦山川の川面とともに形を変えながら車窓に映ります。

赤池駅



6 赤池駅

遠州七窯の一つ「上野焼」と「童謡の町」を象徴する、表現豊かな駅舎です。駅前からはコミュニティバスやタクシーが利用でき、10分程度(タクシー)で上野焼窯元または興国寺に到着します。



7 福智下宮神社

8 河村光陽生誕碑
赤池駅から21km

創立は慶雲四年(707年)。景行天皇が熊襲征討の際に休息をとったと伝えられる古社。上野焼の里としても知られ、神社脇の県道を福智山に向かって進むと上野焼の窯が立ち並んでいます。河村光陽生誕碑は「福地下宮神社」の鳥居横にあり、生家は神社の隣にありました。



9 上野の里陶芸館

福智山麓の赤池地区にあり、遠州七窯の窯元を代表する上野焼の窯元

400年以上の歴史を持つ上野焼は、豊前小倉藩主・細川忠興が創始。遠州ゆかりの七窯の一つに数えられる国指定伝統工芸品で、21の窯元が点在しています。



10 興国寺

南北朝時代、臨済宗の高僧・無隠元海禅師によって開山された歴史ある寺院。後に、かの足利尊氏が戦に敗れて九州に落ち延びた際、このお寺に匿われ再起の出発点となったことから、室町幕府の発足後、全国66ヶ所に建立させた安国寺の第一位として指定したことで知られています。



11 上野峠 白糸の滝



12 ぶくちのち 赤池駅から約200m

広々とした敷地内につくられた建物は図書館のイメージを一変。閲覧スペースは、ゆったりとしたデザインで配置され訪れる人を温かく迎えてくれます。町の歴史や資料も豊富に取り揃えてあり、カフェも併設された町民の楽しい空間です。

人見駅



① 五平太舟船着場跡
人見駅から100m

この辺りから赤池の貴船神社付近までの船着き場に、数百隻の石炭運搬船が鉄道の開通まで発着していました。



② 五平太舟船着場跡の案内板



③ 河川敷広場 人見駅から550m

彦山川と中元寺川の合流地点、河川敷も広く遊歩道も整備され、いこいの場として、四季折々の自然と気持ちよく楽しめます。夏には「水と灯びの夕べ」が行われています。



④ 定禅寺の藤の花

境内の庭にある大木の藤棚から四方に伸びる枝に見事な長いフサを垂らして咲き誇ります。また、珍種とも言われる八重の藤も清らかな花を咲かせます。

金田駅～上金田駅



⑤ 金田駅

平筑の本社がある駅で、ちくまるグッズも販売しています。構内の陸橋からは車両基地が見渡せて、胸がわくわくする車両をたくさん見ることが出来ます。令和元年にはことごと列車も運行を開始しました。秋には「へいちくフェスタ」も開催されます。



へいちくフェスタのちくまる



⑥ 森鷗外文学碑
(金田駅前)

小倉日記の中に、森鷗外が金田駅前で宿泊することが文学碑に記されています。



⑦ 碧巖寺 金田駅から350m

第17代住職の黒田天麟和尚が明治6年に昭倫舎を開校し、児童13人を迎えました。これが金田小学校の始まりで、ここから旧金田町の学校教育が始まりました。また、「享保の大飢饉(1732年)」では、金田村の人口の30%が餓死したと記録されており、その金田村餓死者の供養塚が建立されています。



⑧ 稲高神社 金田駅から1m

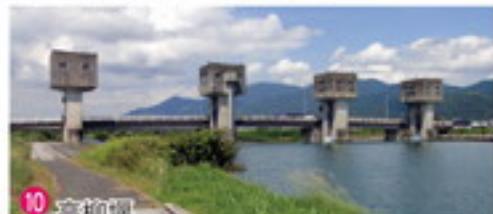
金田村水田の干ばつ対策として橋の「高柳堰」を建設した「清徳」とその後、堰を改修し「里保神」の顕彰碑が境内に建てられています。年に一度の山笠は威勢の良さで有名です。

繻駅～田川市立病院駅



⑨ 繻駅と清間のさくら

大きな桜の並木がホーム全体を飾ります。駅全体に古くからさくらが所せましと咲き乱れ、乗客を楽しませています。



⑩ 高柳堰

高柳堰は干ばつで悩む下流金田村(現在の福智町金田)の水田への灌漑のために造られ、現在の堰は旧堰の下流120mの場所に昭和58年に完成したものです。



⑪ 田川市立病院駅と彦山川

田川市立病院駅には列車の到着に合わせて、病院から無料の送迎バスが出ています。

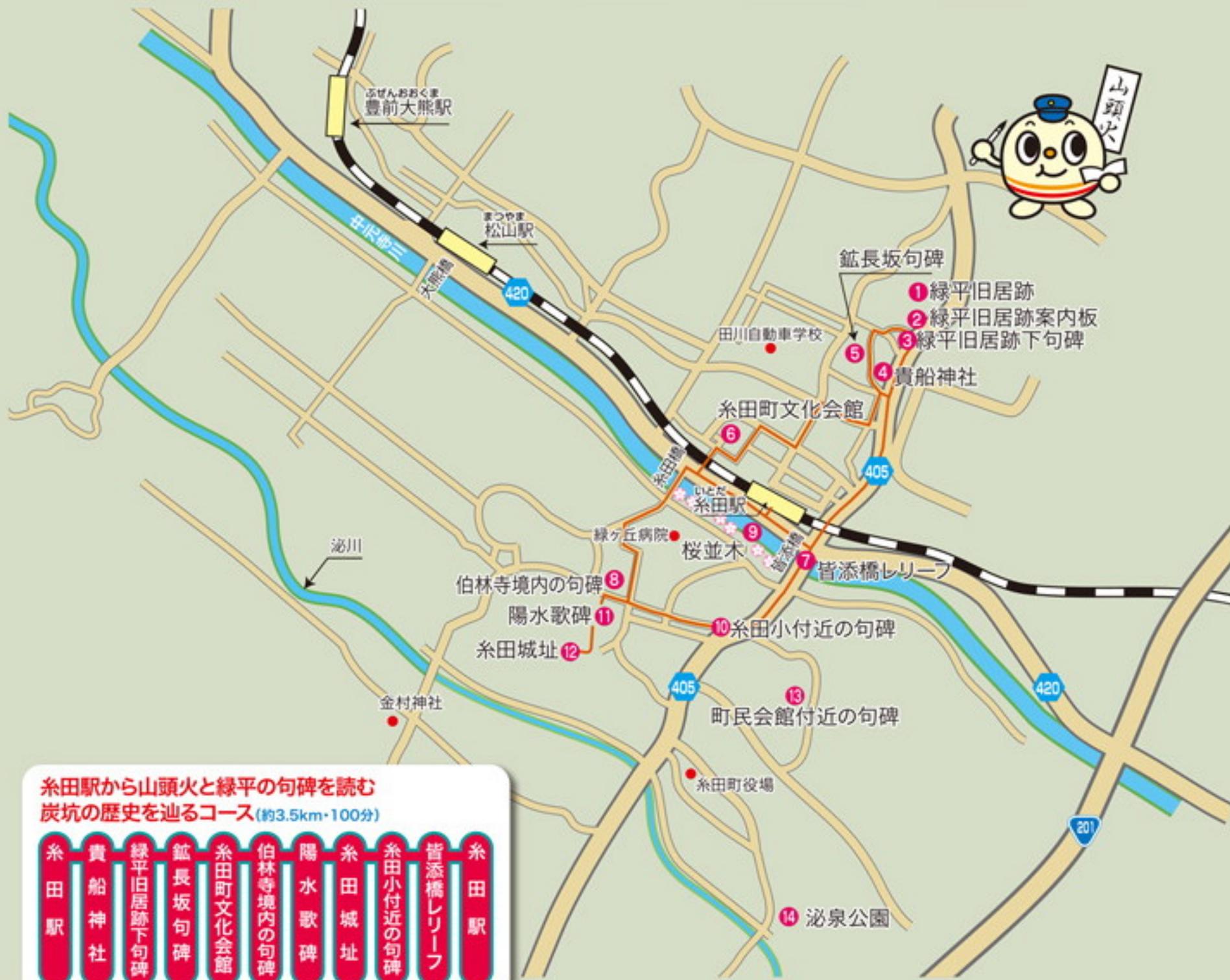
金田駅

豊前大熊駅

松山駅

糸田駅

大藪駅



糸田駅から山頭火と緑平の句碑を読む
炭坑の歴史を辿るコース(約3.5km・100分)

- 糸田駅
- 皆添橋レリーフ
- 糸田小付近の句碑
- 糸田城址
- 陽水歌碑
- 伯林寺境内の句碑
- 糸田町文化会館
- 釜長坂句碑
- 緑平旧居跡下句碑
- 貴船神社
- 糸田駅

松山駅～糸田駅



1 緑平旧居跡
案内板を置ったところ (撮影はなし)

木村緑平は医師にして俳人。柳川市出身。昭和2年から13年まで明治豊国鉱業所の内科医として糸田町に居住。放浪の俳人・山頭火を物心両面で支えました。山頭火は14回程糸田の緑平宅を訪れています。山頭火の生涯の「旅日記」は全て緑平に預けられ、その数は21冊に及びます。緑平なくして、山頭火なしと言われるほどの関係です。



2 緑平旧居跡案内板
緑平旧居跡下の句碑から50m

坂の頂上少し手前左手のフェンスに隠れるように看板が掛けられていますが旧居の面影はありません。



3 緑平旧居跡下句碑
貴船神社から100m

表に緑平、裏に山頭火の句が彫られています。



4 貴船神社
糸田駅から600m

神社の前を左に行くと釜長坂へ、右に行くと社殿の横にある句碑を初め緑平の居住跡へ行けます。



5 釜長坂句碑
貴船神社横の急坂

かなりきつい坂で、この坂の上には明治豊国鉱業所(炭鉱)の管理職住宅がありました。そのため「釜長(炭鉱長の意味)坂」と言われています。山頭火もこの坂を歩いたのか、句碑が坂の途中にあります。



6 糸田町文化会館
糸田駅から300m

糸田駅から松山駅方向300m程行った所の陸橋を渡ると目の前にあります。館内には山頭火の陶像があり、何故糸田町が山頭火なのか、いろんな謎が判明します。句碑通りの最初に訪れることをお勧めします。



7 皆添橋レリーフ
糸田駅から100m

山頭火の緑平に寄せる思いを端的に表す句「逢ひたい、捨炭山(ボタ山)が見えだした」がレリーフになっています。



8 伯林寺境内の句碑
糸田駅から50m



9 桜並木
糸田駅からすぐ

糸田駅前「皆添橋」～「糸田橋」まで300mに及ぶ桜並木。川面にこぼれんばかりに咲き誇る桜は迫力十分で、近年は遠来からの見物人も多いです。



10 糸田小付近の句碑
糸田駅から350m



11 陽水歌碑
糸田駅から300m (JA糸田支店裏手)

井上陽水は糸田町出身。歌碑には陽水のヒット曲「夏まつり」の自筆の歌詞が彫られています。本名の陽水は「あきみ」と読み、実家は歯科医院で歌碑の近くにありました。陽水は高校卒業までここで育ちました。



12 糸田城跡
糸田駅から1.2km

鎌倉時代末期、豊前国守護(地方の軍事・警察など担当する職)だった糸田貞義が居城したとされています。



13 町民会館付近の句碑
糸田駅から100m



14 湯泉公園
糸田駅から1.5km

湯泉のそばにあり、鯉や鮒小魚が見られ、地名の起原とも言われています。遠くに烏尾峠と削られた船尾山が見えます。



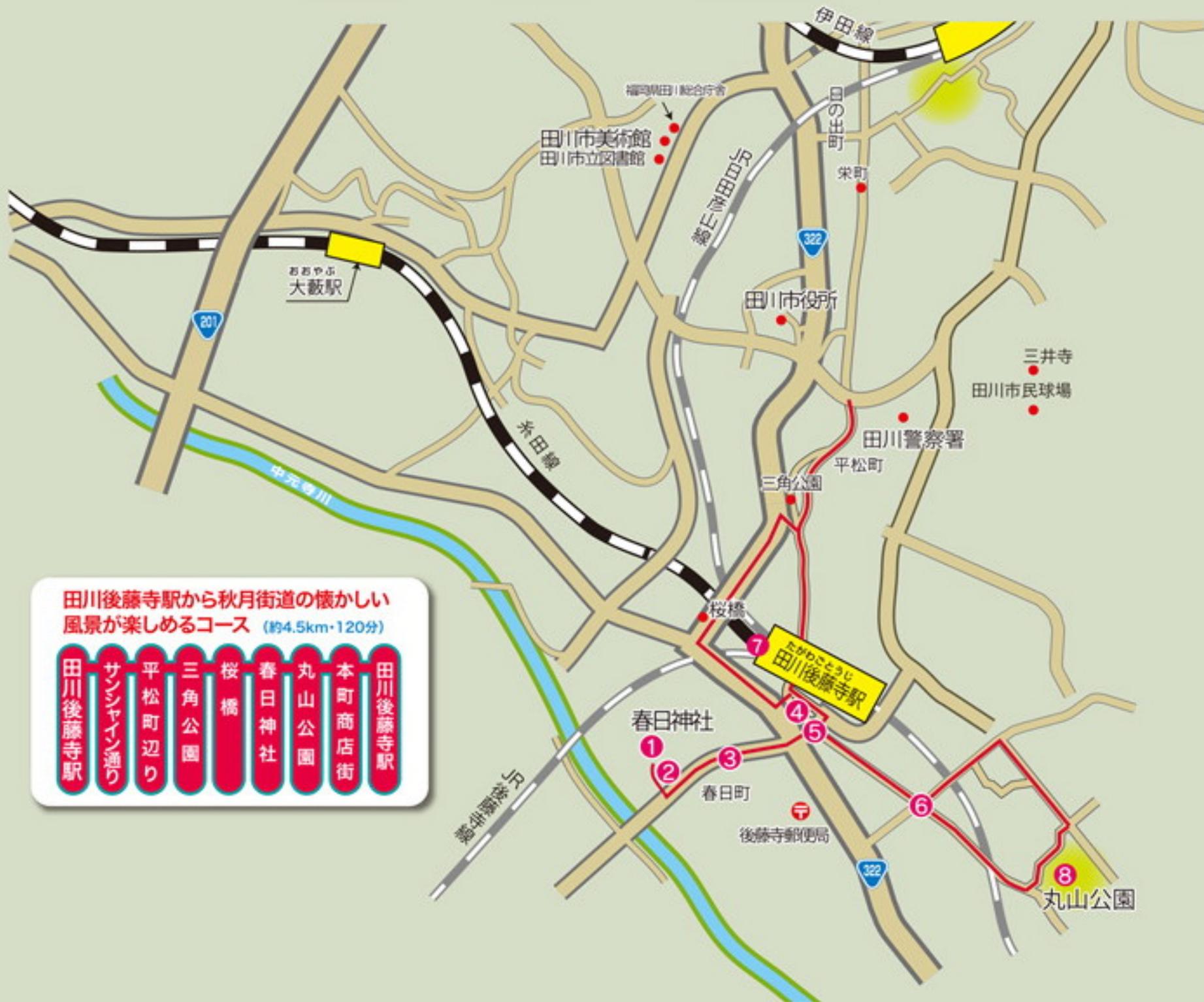
糸田祇園山笠

300年以上続く山笠で毎年5月第2土・日に行われます。各地区で高さ最大9メートル・重さ2トン以上の飾り山笠を担ぎ、町内を勇壮に練り歩きます。10

糸田駅

大藪駅

田川後藤寺駅



田川後藤寺駅から秋月街道の懐かしい
風景が楽しめるコース (約4.5km・120分)

- 田川後藤寺駅
- 本町商店街
- 丸山公園
- 春日神社
- 桜橋
- 三角公園
- 平松町辺り
- サンシャイン通り
- 田川後藤寺駅

田川後藤寺駅



1 春日神社 田川後藤寺駅から徒歩500m

神社は平安時代の末期、藤原氏の荘園であった弓削田荘の鎮守神として祀られたのが始まりで、奈良の春日大社から分霊を受け、弓矢の神である弓削田春日大明神として祀られています。



2 岩戸神楽

「春日神社岩戸神楽」は福岡県指定無形民俗文化財で、450年以上の歴史と、江戸時代の神楽の型が良く残され、毎年5月の第4土曜日とその翌日に行われる春日神社神幸祭に奉納される他、7月の夏越祭や10月の神待祭でも奉納されます。



3 春日神社神幸祭

田川地区の最後を飾る神幸祭で、後藤寺の町を練り歩き、祭の最中に鬼が出て、神輿の邪魔をする。神官が鬼と対決し、最後に鬼を退治して、神輿を無事に治める。他の神幸祭ではお目にかかれぬ独特の雰囲気を持っています。



4 サンシャイン通り 田川後藤寺駅から徒歩400m

本町商店街の真向かいにおしゃれな道が北に伸びています。此処がサンシャイン通りです。老舗からオシャレな店舗などがあり、長〜い後藤寺駅のガードに続く通りです。



5 田川ことごと銀天街 田川後藤寺駅から徒歩550m

400mも続くアーケードは圧巻。様々な商店が連なり、秋月街道の一部で、上本町商店街と連なり、丸山公園の入口、十二祖神社前を通り、猪辻金から嘉麻市に通じます。



6 本町商店街 田川後藤寺駅から徒歩400m

田川後藤寺銀天街の続きで、アーケードが南口まで続きます。アーケードの長さは銀天街から本町まで約400mの長さで多くの店舗が連なり、市民の多くが利用する商店街です。



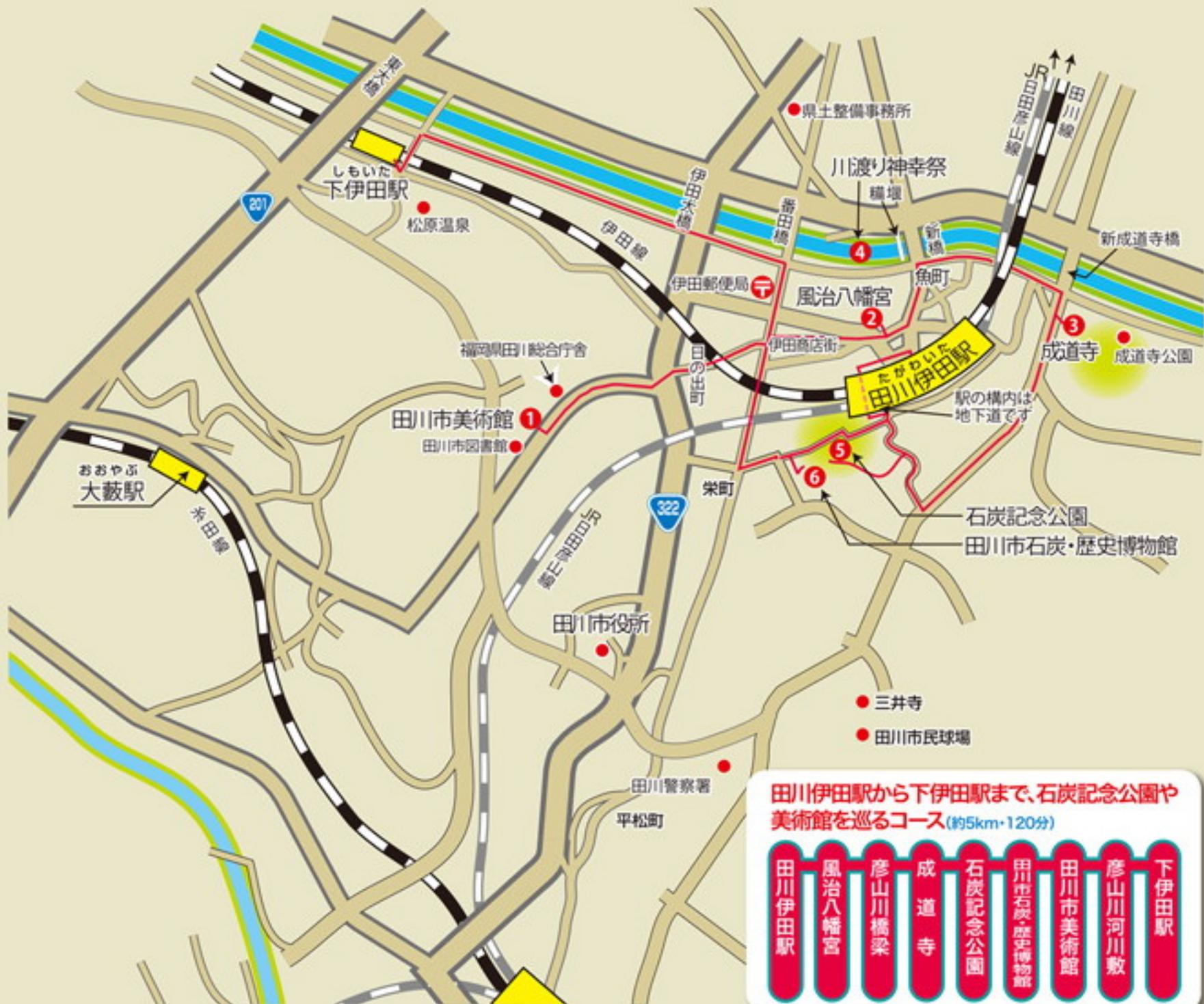
7 田川後藤寺駅

国道322号の桜橋から見た田川後藤寺駅。明治29年田川伊田駅より1年遅れでの開業。石炭や石灰石を運ぶため、当時は広いヤードと小さな機関区があった、田川を一生懸命に担った広い構内を振り返ることができます。



8 丸山公園 田川後藤寺駅から徒歩600m

本町銀天街を抜けて500m。桜の花は見事で花まつりも催されます。人々が大勢遠方からも訪れます。歴史は古く、老木の桜も多く、花見の公園として有名です。藤やつつじも綺麗な花を咲かせます。



田川伊田駅から下伊田駅まで、石炭記念公園や美術館を巡るコース(約5km・120分)

- 下伊田駅
- 彦山川河川敷
- 田川市美術館
- 川市石炭・歴史博物館
- 石炭記念公園
- 成道寺
- 彦山川橋梁
- 風治八幡宮
- 田川伊田駅

田川伊田駅



1 田川市美術館 田川伊田駅から1.7km

田川市が誇る施設の一つで、地元作家の作品や、名画を多数展示しています。毎年開催の「英展」は田川市美術館大賞選定と銘打ち、題材を決めて公募する美術館最大のイベントです。図書館と隣接しており閑静な自然環境の中に佇む赤煉瓦造りの重厚な建物です。



3 成道寺 田川伊田駅から500m

創建は弘仁5年(814年)伝教大師(最澄)によるものとされ、当初は天台別院浄土寺と称し、山頂に白鳥大明神を守護神として祀っていました。その後、室町期の戦乱に巻き込まれ堂塔伽藍を消失し、天台寺院としては衰亡したが、曹洞宗として再興され、寺名を成道寺と変えて今日に至っています。



2 風治八幡宮 田川伊田駅から100m



4 川渡り神幸祭

福岡県の五大祭りの一つで、県の指定無形民俗文化財。毎年5月の第3土日に開催され、2基の神輿と11基の山笠が彦山川を渡る姿は豪放。永禄年間、伊田村に疫病が流行した折、風治八幡宮に祈願、成就の御礼として奉納されたのが起源とされています。



川渡り神幸祭/神輿



5 石炭記念公園 (二本煙突・竪坑櫓) 田川伊田駅から500m

「田川市石炭・歴史博物館」に隣接。公園内にある「旧三井田川鉱業所伊田竪坑櫓」と通称「二本煙突」は国登録有形文化財に登録され、経済産業省の近代化産業遺産に認定されています。田川のシンボルとして、夜間は定期的にライトアップされています。また「月が出た出た〜月が出た」で始まる炭坑節の発祥地でもあります。



6 田川市石炭・歴史博物館 田川伊田駅から500m

炭鉱の歴史や文化など約2万点の資料の他、ユネスコ世界記憶遺産に登録された「山本作兵衛コレクション」627点を収蔵しています。屋外展示場にはロードヘッダー(炭鉱掘削機)やSL(蒸気機関車)の他、当時の炭鉱住宅を復元して展示されています。

山本作兵衛(1892年~1984年)
幼少の頃から炭鉱関係の仕事を経験し、1955年の炭鉱閉山に伴い約半世紀にわたる炭鉱の仕事から引退。1957年頃から描き始めた「炭鉱の絵」は、生涯約2,000枚にもものぼると言われています。平成23年に「アンネの日記」や「ベートーベンの楽譜」が登録されているユネスコ世界記憶遺産に「山本作兵衛コレクション697点」が国内で初めて登録されました。

上伊田駅から勾金駅～柿下温泉口駅に至る
香春岳が見え隠れするコース (約5km・120分)

上伊田駅

鎮西公園

中津原三連橋

勾金駅

鶴岡八幡神社

山頭火遊歩道

愛宕山照智院

柿下温泉口駅



上伊田駅



1 田川廣田神社の石碑
香春公園内



2 香春公園
上伊田駅から500m

鎮西公園・天台寺跡(上伊田廃寺)は田川地方唯一の古代寺院跡で、中門・金堂、講堂等があり新羅系の軒瓦に唐草紋様で飾られていて、太宰府の観世音寺や京都の妙心寺の鐘の紋様と類似しているため、創建時期は白鳳時代(7世紀)と考えられる。



3 中津原三連橋梁 勾金駅から500m

国の文化財に指定されている「内田三連橋梁」のそっくりさん。内田と違ってこちらは両面レンガ張り。もちろん下駄歯構造は健在です。近くに田川高校、バックに香春岳が広がります。また、橋梁を潜った道路反対側の遠景には旧添田線の鉄橋跡が見えます。



6 鶴岡八幡神社 勾金駅から1.2km

約850年前に鎮西為朝の勧請により建立されたと伝えられており、毎年10月第4日曜日に行われる秋季例大祭に迫力十分な流鎧馬が披露されています。

勾金駅



4 山頭火の詠んだ句碑 勾金駅から2.1km

香春岳を含む福智山地から湧き出る金辺川沿いの約200mわたる遊歩道に、山頭火の詠んだ句が、句碑になって建立されています。素朴で心がほのぼのとします。



5 香春の旧街道 勾金駅から0.2km

香春から彌、糸田、鳥尾峠を越え飯塚から八木山峠を通過して篠栗へ抜ける道を「篠栗街道」、田川市伊田から栄町、平松町を通り後藤寺、猪位金を経由して秋月に抜ける道を「秋月街道」と呼んでいました。



流鎧馬(鶴岡八幡神社)



一つ一つの句の中に、人の心に情景を映して声をかけて来るように濁りのない句が連なります。

柿下温泉口駅



7 愛宕山照智院の護摩焚き

照智院は、五穀豊穡・火災消除の祈願をする寺として有名です。毎年2月11日の春期大祭には、紫壇護摩供が催され、多くの参拝者で賑わいます。



8 香春岳を望む 柿下温泉口駅から200m

御波川に架かる「さやのもと橋」から何気なく眺めた香春岳の三つの姿が映る、勇壮で雄大な風景が美しいです。手前の山は産業用に削られて、またそれも辺りの自然に溶け込んでいます。季節ごとに優しさ、艶やかさを醸し出す景色です。

赤駅から油須原駅～源じいの森駅に至る
四季の詩が微笑むコース (約4km・120分)

- 源じいの森駅
- 源じいの森散策
- 蛇巻岩
- 油須原駅
- 恵比須神社
- 赤村特産物センター
- 赤村トロッコ体験
- 赤駅



内田駅～赤駅



1 国登録建造物文化財
内田三連橋梁 内田駅から約1km

明治28年に豊州鉄道によって行橋から伊田間が開通した当時のレンガ造りの鉄道橋で将来の複線化に備えた下駄歯構造の美しい橋梁です。国の登録建造物文化財・経産省の近代化産業遺産に認定されています。

油須原駅



4 道標
5 恵比須神社 油須原駅から約300m

駅を出て右に曲がり、道を挟むように家並が続く町の中の細い道を歩いて、5分程の所にあります。入口に道標があり、そこには山鹿迄二里、猪膝迄二里二十九丁、彦山迄四里十七丁」と彫ってありました。昔ここが宿場町だったことがうかがえます。神社はお堂の奥にあります。

源じいの森駅



9 源じいの森ほたる館
源じいの森の森の上からも見え文化

自然とのふれあい体験学習や宿泊も出来る施設です。また、広い敷地内を散策しながら森林浴や溪流での水遊び。季節の景色も楽しめます。



2 赤村トロッコ油須原線 赤駅前

豊前川崎駅から大任駅を經由して油須原駅まで国鉄線として建設が進められ道床が完成、一部に線路も敷設されましたが開通することができず廃線となった油須原線。この区間の一部にトロッコ用線路を敷設してトロッコ列車を走らせています。



6 油須原駅

明治28年に開業した沿線でもっと古い駅舎で殆ど当時の形を残しています。赤いポストが駅とマッチして懐かしい風景です。ドラマ「東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン」のロケにも使われました。鉄道ファンが写真撮影に訪れます。



10 国登録建造物文化財
第二石坂トンネル 源じいの森駅から約250m

明治28年に開通した行橋～伊田間の当時のトンネルで、第一トンネル33.2m、第二トンネル74.2mと短く、九州で最も古い赤レンガの鉄道トンネルです。源じいの森の橋の上から見る事が出来ます。



3 赤村特産物センター
油須原駅から約850m

ここでは赤村で採れた野菜や果物、山菜や畜産物の販売と、加工食品、もち、パンや弁当なども販売しております。



7 「戸城山自然公園登山口」案内看板 標高310m
8 蛇巻岩 油須原駅から約1100m

戸城山城跡があり、展望台からは英彦山や周防灘、赤村の農村風景が見えます。小鳥のさえずりが心地よいです。

戸城城主の愛姫「小夜姫」の恋愛悲話伝説にまつわる奇岩。落城が恋人の裏切りと知った姫が悲しみのあまり今川の急流に身を投げた夜、姫の化身となった大蛇が川の淵に突き出た岩にくるくる巻きになって死んだ。大蛇はそのまますりとなり、村人はこの岩を「蛇巻岩」と呼び、小夜姫を手厚く葬ったと言われています。



11 源じいの森温泉 源じいの森駅から約200m

山の中の温泉郷「源じいの森」は、源じいの森駅から徒歩3分の所にあります。地中1000m以上の深さから汲み上げられ、疲労回復などの効果があります。

豊の国の人々の習慣や暮らしの
文化、自然を訪ねる… (約6km・180分)

新豊津駅

二児神社

みやこ町歴史民俗博物館

小笠原神社

育徳館高校黒門

国分寺三重塔

みやこ町総合観光案内所

新豊津駅





1 林酒造場遠景

英彦山を源とする今川の清流で造られる清酒は京菓の良米と合わせ芳醇な味を醸し出します。列車が油須原の峠を目指し、エンジンを響かせて走ります。



2 宿場の面影を残す山鹿地区

駅前を右、崎山方面へ行く、町中を抜け広い道に合流し橋を渡る、少し先の踏切を越えると山鹿地区、犀川橋の手前で左に曲がると宿場跡の風景が見えます。



3 早放神社 犀川から約1.7km

4 早放神社の道標 (約1.7km)

天生田橋交差点の道標から、此处、山鹿の道標、油須原駅近くの恵比須神社の道標、そして英彦山や猪膝へとつながっていきます。



5 犀川駅

開業は明治29年で、現在の犀川駅「ユータウン犀川」は平成5年に完成しました。町木の「桧」を使用した、長大なシンボルタワーは犀川の「犀」を動物、「サイ」になぞらえ、駅舎全体で「サイ」を連想させる外観としています。



6 生立神社

養老七年(723)に創建され、ご神体は木造僧形八幡神座像で福岡県有形文化財に指定されています。5月の神幸祭には山笠が神社前に雅やかに勢揃いします。



7 東犀川三三四駅

犀川出身の小宮豊隆は豊津中学(現育徳館高校)、東京の第一高等学校、東京帝国大に進学し、その後夏目漱石に出会い「三三四」の小説が生まれたと言われていいますこれが駅名となった由来です。



8 三尾神社

景行天皇夫妻とその双子の子の4神を祀る。「安産の神様」として知られ、馬ヶ岳城跡(黒田官兵衛ゆかりの地)への登山口ともなっています。



9 みやこ町歴史民俗博物館

収蔵資料は1万余点、旧石器時代から奈良、平安、江戸、明治初期と興味深い資料が展示されています。



12 福岡県有形文化財 三重塔

長閑な丘陵地に建つ三重塔は戦国末期に消失し、明治29年に建立し、昭和60年に大改修しました。

明治維新で小倉城を追い越した地に移った小倉藩が明治3年に開校した藩校(育徳館)の校門で、入学式や卒業式の時に特別開門されるそうです。同じ敷地内には県内で最も古い学校建築である「思永館」も保存されています。



10 育徳館高校の黒門

福岡県立育徳館中学校・高等学校(旧豊津高校)の敷地内にある「黒門」です。



11 みやこ町総合観光案内所

武家屋敷風の建物で、観光パンフレット等が常備され、駐車場完備。気軽にお尋ねください。趣味の作品も展示しております。

美夜古泉駅から豊津駅に至る
豊の国の歴史コース (約5km・120分)

豊津駅

天生田橋・道標

錦町

甲塚方墳・郡長正の墓

八景山・護国神社

矢留清地神社

今川河童

千間土手

美夜古泉駅



馬ヶ岳展望台は大谷交差点から登山コースの案内表示にしたがってお進みください。

6 天生田清地神社

5 天生田道標

8 郡長正の墓

彦徳甲塚古墳

錦町

4 矢留清地神社

長者原遺跡
(古代仲津郡の役所?)

下駄歯構造が残る橋梁

9 甲塚方墳

八景山護国神社

秋月藩士の墓

今川河童駅

美夜古泉駅

東九州自動車道

京都橋

清地大橋

天生田橋

待野橋



1 今川の千間土手

大昔今川は、清地大橋の少し下流から流末と宝山、寺畔地区の間を蛇行して大野井の方へ流れていました。そのため水害が度々おこり、この水害を阻止するために現在の直線の流れに大改修し長い土手を築きました、これが千間土手です。現在は遊歩道もあり、地域の方々にとって季節を通じて川とふれ合える場所となっています。



2 馬ヶ岳大谷登山口 豊津駅から約2.4km

豊臣秀吉や黒田官兵衛のゆかりの「馬ヶ岳城址」がある馬ヶ岳に向かう、途中は緩やかな登山道の入口です。登山道の途中には昔の官道の切り通しや道路跡があります、その幅は30mとも50mとも言われています。



3 馬ヶ岳展望台 登山口から約700m

豊臣秀吉が遠征軍を率き九州上陸の折滞在し「攻めるに難き名城なり」と絶賛したという記録があります。



4 矢留山清地神社 豊津駅から約1km

矢留山の中腹にあり、長い石段を登ると入り口の鳥居の側に竹杖が十数本置いてあります。お祭り7月25日 御祓い(古神事汐井汲)七浦の潮井を汲んで無病息災を祈願します。10月2日に 秋季大祭があります。



5 天生田の道標

石碑には「従是南石坂越英彦山道」右は「従是東椎田道」と記されています。



6 天生田/清地神社 豊津駅から約1.5km

天疫神社の系統で、五十猛命を祀っています。太宰府と国府を結ぶ長大な官道が、清地(すがち)神社の石段の前方を豊津駅の間口踏切の地点を結ぶ線为国府へ、宇佐神宮へと通じていたといわれています。



7 今川河童駅

駅名由来はその昔、今川に住んでいたとされる、いづら好きの河童があまりにもいたが過ぎるので、村人たちは河童に人間の子とも相撲をとらせた。河童は投げられ、悪行を詫言、それから子どもたちと仲良しになったという「今川河童伝説」にちなんで、駅名に付けられました。



8 郡長正の墓 豊津駅から約1.5km

会津松平藩の家老の次男で、斗南藩から派遣された6人の留学生の一人。明治4年に育徳館に入学し、翌年4月、母に宛てた手紙を落として侮辱されたため、自決した。同じ墓内に「秋月藩士の墓」もあります。



9 甲塚方墳 豊津駅から約1.5km

甲塚方墳は6世紀末に造られた方墳で、石室は横穴式、全長15.4m。遺体を葬る玄室は長さ4.4m×幅3.7m、高さ4.6mで 同じ時期のものでは九州で最大級です。

行橋駅から



1 行橋駅

行橋駅は市の都市計画事業で平成11年8月高架化されました。行橋駅東口(駅前の玄関横)には昭和40年代まで田川線や伊田線等で旅客専用として活躍した蒸気機関車(C11型)の動輪が展示されています。



2 SLの動輪



3 薩川(ひかわ)橋と時計台

行橋駅から450m

薩川に架かる橋はシックで周りの風景にとけ込み、橋の中程にお洒落な時計台と小さな展望所があります。その昔豪商たちで賑わったの長峡(ながお)川が一望できます。



4 正八幡神社(行橋駅から800m)

橋の大木やもみじなど、季節を楽しませてくれる自然豊かな森に囲まれた広い境内。訪れる人の気持ちを和ませてくれます。小さな池には澄んだ水がゆっくりと流れて牡丹の鮮やかな花や咲いています、カキツバタの花が賑やかな神楽の由緒ある歴史を物語っています。



5 福岡県指定有形文化財 国指定近代行橋支店

大正4年の建築で、赤煉瓦の美しい外観です。今は「赤レンガ館」として開放され見学する事も出来ます。また、市民の作品の展示スペースとしても開放されています。



6 リピリオ行橋

「赤レンガ館」のまえに新しく図書館の機能や歴史、文化的なコーナーを揃えた広々とした施設は駐車場も広く、場所も行橋駅に近いので利用しやすい環境です。



7 市指定有形文化財 旧船屋門 (行橋駅から800m)

行橋市指定の有形文化財で豪商の船屋があった所です。(現在は個人所有のため中は見学出来ません)



8 正八幡宮 (行橋駅から400m)

中津街道から本殿まで200m以上も続く参道は、神々しいほどの大楠に囲まれていて、町の中にもかかわらず静寂で凛とした雰囲気漂います。毎年5月初旬頃には市街地には珍しく、渡り鳥の「アオバズク(フクロウの一種)」が飛来します。



アオバズク



9 今川河川敷遊歩道 (行橋駅から800m)

春、兩岸の桜並木に競い咲く桜は、絢爛そのもの、遊歩道も整備されて地域住民の方々の憩いの場となっています。さくらと菜の花の祭りも毎年行われ大勢の市民でにぎわいます。



10 舟路川遊歩道 (行橋駅から400m)

舟路川は江戸時代に年貢米を今川から長峡川に立並ぶ河岸の蔵に運ぶ為の運河(掘割)として造られました。物資を積んだ舟がこの運河(舟路川)を盛んに行き来し、岸辺に料亭などもありました。この舟路川の岸を遊歩道として整備し、市民に開放しています。

平成筑豊鉄道の車両



400形<401・402> ことこと列車



400形 なののはな号



400形<410> つながる号



400形<408> ちくまる号



400形<412> へいちく 開業時カラー



500形<501> へいちく浪漫号



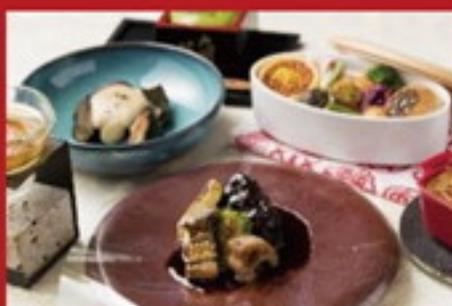
400形<411> へいちくLINEスタンプ号



400形<403> スーパーハッピー号



(北九州銀行レトロライン) 潮風号



ことこと列車 好評運転中!

ことこと列車は 2019年3月から運行開始した
レストラン列車です。

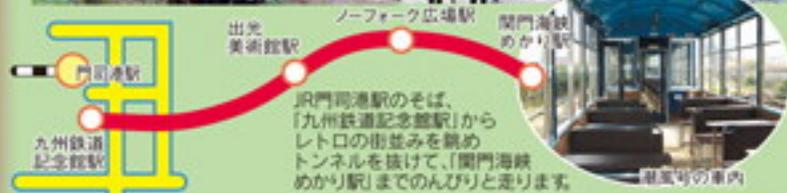
沿線の食材を用いたフレンチコース料理を味わい
ながら、約3時間かけてゆっくり・ことこと走ります。

お問い合わせは JTB 北九州支店
TEL093-521-5956 または

ことこと列車 で
検索
または QR コード



北九州銀行レトロライン 門司港レトロ観光列車 潮風号



出光美術館駅



門司港レトロ街



関門海峡めがかり公園のせくら

お申し込み・お問い合わせは

平成筑豊鉄道株式会社門司港事業所
〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目7番1号

TEL093-331-1065
FAX 093-331-1265
<http://www.retro-line.net/>

企画・イベントに最適

へいちく浪漫号

へいちく浪漫号の車内

貸切列車

●1両:座席定員:41人

78,000円

(3時間)

※お食事・お飲物などは
お客様でご用意ください。



カラオケ
無料



お洒落な列車で
素敵な
パーティ...



特典付き

平成ちくほう鉄道
伊田線・糸田線・田川線

1日乗り放題 ちくまるキップ

大人 1,000円 子ども 500円

列車内で発売しています

特典 温泉が無料!

当日ご利用の「ちくまるキップ」を温泉受付に提示してください。

入湯はいずれかの温泉施設を1回のみとなります。

糸田ふるさとセンター 遊じいの森温泉

ふるさと交差点 日王の湯

ほうじょう温泉 ふじ湯の里



特典 ファミリー特典
「ちくまるキップ」1枚つき
子ども(小学生)1人無料。
土・日・祝限定

楽しい旅の思い出に、おみやげに へいちくグッズ発売中!



出発進行

ちくまる号子ヨロロQ
1個 700円



へいちくへの楽しいパッチ
スマートフロンヤ
バッグのフォルダーに
お洋服のペンダントに...

ちくまる缶バッジ
1個 200円



手のひらサイズの
(ぬいぐるみ)
ちくまるマスコット
1個 700円



やわらかな肌ざわり...
洗っても色落ちしない
どっしりしたラバー製
ちくまるラバーキーホルダー
なのはなラバーキーホルダー
8.1個 500円



ちくまるハンドタオル
500円



オリジナル
缶(四角)バッジ
1個 300円

(お求めは) 金田駅窓口または
「へいちくネット」 <http://www.heichiku.net>

平成筑豊鉄道株式会社

平成筑豊鉄道推進協議会

田川市(都市計画課)
TEL 0947-85-7149

福智町(まちづくり総合政策課)
TEL 0947-22-7766

直方市(商工観光課)
TEL 0949-25-2157

小竹町(企画調整課)
TEL 09496-2-1214

行橋市(都市政策課)
TEL 0930-25-1111

みやこ町(行政経営課)
TEL 0930-32-2511

香春町(まちづくり課)
TEL 0947-32-8408

赤村(総務課)
TEL 0947-62-3000

糸田町(地域振興課)
TEL 0947-26-4025

福岡県(交通政策課)
TEL 092-643-3693